

## 研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院における妊娠初期・妊娠中期精密超音波検査の診断ならびに出生予後との比較調査	
1. 研究の対象および研究対象期間	2011年1月から2020年12月までに当院で妊娠初期・妊娠中期精密超音波検査を受けられた方
2. 研究目的・方法	胎児の形態異常を出生前に診断することは周産期管理・出生後の新生児管理に関して有用です。超音波検査のプロトコールの変化、ならびに超音波機器の進化により、妊娠中の出生前診断は進化しつつあり、さらにより早い妊娠週数での出生前診断につながっています。さらに、出生前の胎児や胎児付属物（胎盤・臍帯）の評価によってより適切な周産期医療を提供し、新生児の予後の改善につながっています。一方、早い妊娠週数での胎児・胎児付属物の超音波評価では偽陽性率/偽陰性率が上昇していることも考えられます。本研究は昭和大学病院における妊娠初期・中期精密超音波検査での出生前胎児・胎児付属物異常に関する超音波診断を、出生後の新生児予後と比較することで、当院の超音波検査の質を調査し、より有用な超音波検査の検討を行うために計画しました。
<b>研究期間</b> 「医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから ～2023年12月31日	
3. 研究に用いる試料・情報の種類	妊婦情報：年齢、身長、体重、既往歴 超音波検査結果：検査時妊娠週数、異常所見の有無 新生児所見：出生時妊娠週数、出生体重、先天性異常の有無
4. お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部産婦人科学講座）      研究責任者：徳中 真由美

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8      電話番号：03-3784-8551